



う え だ か な え

伊賀びと(伊賀市)上田 佳苗さん(45)

伊賀市社協の登録ヘルパーとして介護の仕事に生きがいを見出している上田佳苗さん。若い頃から続けている茶華道の心も、介護の仕事に生かしたいという。

社会とのつながりをより深めたいと、以前から関心のあったホームヘルパーの仕事を始めたのは8年前のことだ。2年前には介護福祉士の資格を取得。さらに精神面の理解を深め、ケアの質を高めたいと、昨年末、ケアマネジャーの試験に合格し、現在は資格取得に向けた講習を受ける一方、週4日間は介護福祉士として働いている。

「身体介護や生活援助は体力があればできますが、精神的な関わりはとても難しい。でも、私を待っていてくれるお年寄りの元気な顔を見ると、この仕事をしていて良かったと実感しますね」と上田さん。子育ても終わり、自分の心にゆとりの出来た今、自分のやるべきことに向かえる幸せをかみしめている。

高校卒業と同時に習い始めた茶華道も教授の腕前。伝統と精神面の効用に惹かれているという華道・甲州流を、学校や婦人会、企業などのサークル活動に出張教授しているほか、自宅でも教室を開きながら、自己研鑽のために大和郡山の家元の研修会にも毎月のように通う。さらに、県立あけぼの学園高校では茶道の授業を6年前から担当している。



さいとう あきひこ

伊賀びと(名張市) 齊藤 秋彦さん(53)



「音楽は心を癒し、明日への元気を生み出す力がある」と、職場の小学校でもボランティア先でも、得意のギターで相手と心を通わせる齊藤秋彦先生。子どもも大人も心を病み、心の教育の重要性が指摘される昨今、人の心を癒し、勇気と希望を与えてくれる音楽の果たす役割の大きさに手ごたえを感じている。

大阪市出身の齊藤さんは88年、名張市に転入した。中学時代から大学時代まで一貫してフォークソングの弾き語りにも熱中し、大学卒業後、小学校の教師になった。そして、次第に子どもたちの生活体験が乏しくなり、季節感が薄れていくことに危機感を感じ、教育現場でも心に響く歌を機会を見ては子どもたちと歌うようになった。若い頃から長渕剛のファンだという齊藤さんは、5年前、大阪城ホールのライブに駆けつけ、熱狂の渦に巻き込まれた。「長渕のライブはなぜ熱いのか! 彼の歌詞は、自分だけよければいいという考えに熱い怒りをぶつけている。そのことに聴衆は共感を覚えているのだ」。いいものは時代を越えてもいいものであるという思いを強くした齊藤さんは、長渕剛の歌を歌うこともある。

齊藤さんは昨年からは名張市社協に個人ボランティアとして登録し、これまでに名張育成園などで弾き語りを披露。台風の甚大な被害を被った海山町の現場にも支援に向くなど、ボランティアを通じて貴重な出会いを体験している。

なんでもかんでも情報BOX

「伊賀市自治基本条例」勉強会

私たちの住む伊賀地域では6市町村が合併し昨年12月24日から「伊賀市自治基本条例」が公布、施行されました。全国に広がりつつある地方自治の流れの中でもこの伊賀市の取り組みは先進性が高く、注目を浴びています。

“市政の基本事項について市が定める最高規範”で“伊賀市における自治の基本的な事項を定め、市民及び市のそれぞれの権利や責務を明確にし”とありますので私たちの市民生活にも大きな影響力を持つことは想像できるのですが、その中身については「よくわからない」と言うのが多くの市民の実感だと思います。

どうせなら私たちの生活の中にこの条例を積極的に活かしていくことを考えたいと思い、わかりにくい部分を認識し、その意図するところをみんなで勉強しませんか？素朴な疑問に基づいたささやかな市民活動ですが、同じような疑問をお持ちの方にお気軽にご参加いただければと思います。

【日時】3月10日(木)19:00~
【場所】あやま文化センター 会議・工作室
【参加費】200円(会場費他)
【申込み】W.T.Aまちづくりセンター 中盛まで
電話 0595(24)7612 携帯 090(3302)0627
「伊賀市自治基本条例」の印刷物をご持参下さい。
会場の都合により必ず事前にお申し込み下さい。

「もてなしの心向上セミナー」

東京の下町、台東区谷中から“澤の屋旅館”の澤功さんをお迎えし、外国人旅行者を積極的に受け入れ、平成15年には「下町の外国人もてなしカリスマ」として、観光カリスマにも選ばれた、澤さんのおもてなしについてお話をうかがいます。

【日時】3月16日(水)14:00~16:00
【場所】三重県上野庁舎4階 会議室
【テーマ及び講師】
「下町の外国人もてなしカリスマ」のおもてなし
講師 澤 功さん(澤の屋旅館)
【募集人数】80名
【参加費】無料
【参加申込】参加希望の方の氏名、住所、電話番号を下記申込み先へ3月10日(木)までにお知らせ下さい。
【その他】参加申込が募集人数を上回った場合は抽選となります。この場合、ご参加いただけない方のみお知らせいたします。

【申込み、問い合わせ】
伊賀県民局企画調整部 地域計画・防災室
伊賀市四十九町2802
電話 0595(24)8003
FAX 0595(24)8010
メール gkikaku@pref.mie.jp

私のこれからは、私が決める

成年後見を学ぶ

(厚生労働省未来志向研究プロジェクト)

【日時】3月20日(日)13:00~17:00

【場所】あやま文化センター“さんさんホール”

伊賀市川合3370-29(道の駅あやま西隣)

【参加対象】どなたでも参加可能です。(無料)

12:20に、近鉄上野市駅前より直通バスが出ます。

【内容】

講演 「私たちの生活と福祉後見支援」

東洋大学ライフデザイン学部教授(予定)北野 誠一氏

「私達の地域の福祉後見支援ニーズ」

日本福祉大学社会福祉学部講師 加藤 悦子氏

「福祉後見サポートセンターの活動のイメージ」

熊田法律事務所 弁護士 熊田 均氏

パネルディスカッション

「福祉後見サポートセンター設立に向けて」

医療の立場から

三重大学医学部助教授 成田 有吾氏

専門家の立場から

四日市大学総合政策学部講師 原田 晃樹氏

当事者の立場から

呆け老人をかかえる家族の会

三重県支部代表 泉 美幸氏

社協の立場から

伊賀市社会福祉協議会 田辺 寿氏

市民活動の立場から

PASネット代表 上田 晴男氏

【問い合わせ】

伊賀市社会福祉協議会

電話 0595(21)5866

メール kouken@hanzou.or.jp

視覚障害者マラソン伴走ボランティア

「走風」メンバー募集!

「走風」は視覚障害者のマラソン伴走ボランティアとして活動しています。

現在は、1名の視覚障害の方のサポートとして日々の練習と各種大会へ参加しています。

マラソンの好きな方で、伴走ボランティアとして活動いただける方を募集しています。

伴走経験のない方も歓迎しますので、みなさんの参加をお待ちしています。

【練習状況】平日1回1時間程度(時間帯は要相談)

【参加大会】名張ひなち湖紅葉マラソン・京都てんとう虫マラソン・青山高原つつじジョータマラソンなど

【連絡先】名張市ボランティアセンター

電話 0595(63)1111 FAX 0595(64)3349

メール n.furevc@nava21.ne.jp

第9回地域づくり 「ゆめさき21シンポジウム」

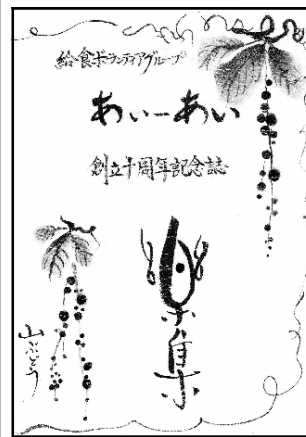
【日時】3月19日(土) 13:00~16:30
 【場所】大山田産業振興センター2階どんぐりホール
 【主催】大山田地域づくり景観整備事業推進会議
 伊賀市大山田支所地域振興課

【目的】ふるさと創生基金を活用した住民主体の「地域づくり景観整備事業」も13年目を迎えました。地域活力や住民自治の起源として、この事業を通して培った地域を愛する想いを、これまでの成果と課題を踏まえて更に推進するために、地域づくりグループ間の情報交換を目的に開催します。

【内容】
 第一部 平成16年度の取り組み
 第二部 景観整備事業と『伊賀市自治基本条例』から始まる地域の明日
 景観談義1 「農村景観づくり」
 三重大学工学部建築学科 浅野聡助教授
 景観談義2 「伊賀市自治基本条例とまちづくり」
 四日市大学総合政策学部 岩崎恭典教授

【問い合わせ】伊賀市大山田支所地域振興課
 電話 0595(47)1156(担当福永)

給食ボランティアグループ「あい-あい」 創立10周年記念誌を発行



「あい-あい」は、名張市比奈知地区を中心に、食事の仕度に不自由している一人暮らし高齢者や病弱な夫婦世帯障害者等を対象に、毎週水曜日ころをこめて手作りの昼食を届けています。

ボランティアのみなさん、利用者みなさん、地域のみなさんに支えられ、このたび10周年を迎えることができました。

それを記念して、いままでのあゆみやメンバー紹介、利用者みなさんからのお手紙などを掲載した記念誌を作成しました。ご希望のかたにはさしあげますので、興味のある方はご連絡下さい。(数に限りがありますのでご了承下さい。)

代表：岡田かる子

【問い合わせ】

名張市社協 電話 0595(63)1111 (担当藤田)

名張市内子育てサークル一覧

サークル名	活動日	場所	対象年齢	会員数	会費	概要	連絡先
KIKI広場	隔週金曜 10:00-11:30	百合が丘東 第1集会所	未就園児0-3 才(0才は歩ける くらい)	親子7 組程度	子1人200円/月	季節の行事・芋堀・外 遊び等	片平美和 63-9427
わんぱくキッズ	第2・4月曜	つつじが丘 公民館	0才-就園前	8組	なし 光熱費実費(均等割)	季節の行事・バザー・ 絵本・手遊び等	玉井豊美 68-4893
ちびっこザウルス	毎週木曜 10:30-12:00	錦生公民館	2-3才(第二子 以降乳児も可)	8組	100円/回、年会費 1000円/家族	自由遊び・工作・紙芝 居等	稲垣由子 64-1712
さくらんぼ	毎週金曜 10:00-12:30	名張中央公 民館	0才-就園前	20組	250円/月	親子リズム体操・外遊 び・ゲーム・工作等	小林恵美 61-1755
クレヨン	第1・3火曜	公園、黒田 集会所他	就園前	6組	なし(必要に応じて 集金)	自由遊び	山内かおり 64-9854
親子くらぶ	第1・3月曜 11:00-13:30	桔梗が丘南 公民館	1才-就園前	12組	1人600円/6ヶ月	季節の行事・遠足・消 防署見学等	吉牟田安恵 68-3540
プチスマイル	木曜	黒田集会所	0才-就園前	9組	場所代実費(均等割)	季節の行事・消防署見 学等	藤尾陽子 65-0746
プラムkids	第2・4金曜	梅が丘市民 センター		11組	1家族200円/月	子育てを通じた仲間作 り・親同士の交流・読 み聞かせ	矢川美和 61-0682
すくすくひろば	第2・4水曜	名張公民館		12組	100円/月		木村加代 61-1607(北井)

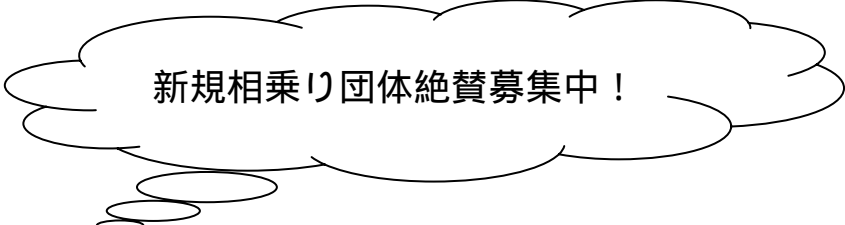
- ・ 印は会費の他にスポーツ保険500円/年への加入が必要です。
- ・ メンバー募集を締め切ったサークルや4月以降活動状況等が変更になる場合がありますので、必ずしも入会できる訳ではありません。当番制があるかどうかなど詳細は連絡先に直接お問い合わせ下さい。
- ・ 子育て全般に関するお問合せ先は名張市こども支援センターかがやき電話66-3915までご相談下さい。

伊賀び〜と紙面相乗りコーナー

伊賀市民活動情報プラットフォーム「伊賀び〜と」では、伊賀地区で活動する市民活動団体やボランティア団体が発信したい情報を、伊賀び〜とに詰め込んで、一度に読者の皆様にお届けします。伊賀びと委員会の終了に伴い、伊賀び〜と編集委員会を再編成し、伊賀び〜との発行を継続して発行しています。無料で掲載いたしますので、下記の掲載スペースを参考にして、紙面相乗り団体を募集いたします。

【掲載スペース】

- [スペース1] たて6.5cm × よこ4.5cm
- [スペース2] たて6.5cm × よこ9.0cm
- [スペース3] たて13.0cm × よこ9.0cm
- [スペース4] たて6.5cm × よこ18.0cm
- [スペース5] たて13.0cm × よこ18.0cm



新規相乗り団体絶賛募集中!

【掲載申込方法】

「伊賀び〜と」紙面相乗り申込書を伊賀び〜と編集委員会に提出して下さい。

発行月の前月10日までに掲載原稿を完全版下の状態で提出して下さい。(手書き原稿はそのまま印刷。文字のみの場合はメールで提出。WORD形式、一太郎形式、イラストレーター形式での提出も可能ですが、スペースにうまく収まらない場合はレイアウトを変更する場合があります)

掲載内容はできるだけ毎月変更して下さい。紙面に余裕がある場合は単発掲載も可能ですが、原則として毎月掲載できる団体を優先いたします。

【掲載可能団体資格】

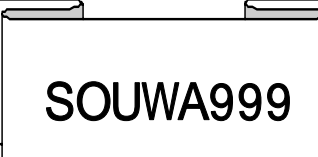
伊賀地域を活動の拠点にしている非営利団体

(ボランティアグループ・市民活動団体・学習サークル・当事者サークル・地域団体、NPO法人等)


ただし、宗教団体・政治団体・企業等による布教活動、選挙活動、営利広告は掲載できません。


【問い合わせ・申し込み・事務局・原稿提出先】


〒518-0869 伊賀市上野中町2976-1 上野ふれあいプラザ3階 伊賀市ボランティア・市民活動センター
電話 0595(21)5866 FAX 0595(26)0002 E-mail ue-vac@hanzou.or.jp



SOUWA999

 **ユニバーサルデザインの町...**
皆にとって通行しやすい町
一部では出来つつありますがまだまだ車優先で通行者は小さくなって通行しなければならぬ所がたくさんあります。

 **高齢者が安全に住める家...**
若い人の理解
手摺までつけて歩かなくていいという消極的な考え方

 **福祉...**
いい制度があってもその制度があるの知らない人がいないだろうか?

この問題にSOUWA999は取り組んでいます。

【ボランティア募集】
私達と一緒にユニバーサルデザインのまちづくりしませんか?

【問い合わせ】 SOUWA999 (代表 相楽信男)
三重県伊賀市上野丸之内117
TEL 0595(23)0284 FAX 0595(24)0106

2005 蔵びらき その次シンポジウム ～2004 伊賀びと委員会 全体報告会～

「生誕360年 芭蕉さんがゆく 秘蔵のくに 伊賀の蔵びらき」事業も昨年幕が下りました。いろいろな思い出だけではなく、自立した地域への足がかりも生まれたはずです。

まちづくりに“ピリオド”はありません。まちづくりは「おもてなし」から始まります。私たちにとっての「まちづくり」や「おもてなし」の“その次”を語り合いましょう。

【日時】 3月27日(日) 13:00～16:40
【場所】 上野フレックスホテル2階「桜の間」
(伊賀市平野中川原)

【内容】 13:00 ビデオ上映・成果物紹介
14:00 第1部 パネルディスカッション
～2004年、伊賀に何が起こったのか～
第2部 円卓会議
～伊賀の明日、協働の未来～
16:40 提言

出演者
粉川一郎氏(武蔵大学社会学部専任講師、NPOコミュニティ・シンクタンク「評価みえ」代表理事)
海老名 敏宏氏(名古屋テレビ放送株)
高橋 徹氏(NPO伊勢まちづくり会議代表)ほか
(入場無料・申込み不要)

【問い合わせ】 2004伊賀びと委員会事務局
電話 0595(24)8193

「なばり赤目・梅の会」便り ～その3～

梅まつりのご案内

【開催日時】3月12日(土)

13:00～15:00 雨天は13日(日)

【開催場所】名張市赤目町長坂の福本梅林

【行事内容】振る舞い(ポン菓子、豚汁、お茶)

お楽しみイベント(オークション、ビンゴゲーム)

自然体験(苔取り、寄せ植え)

梅のお花見は、ほのかな香りがあたり一面に漂い、とても素晴らしいです。ボランティアの方のご協力、梅林にパ〜ンという音が響くとともに、昔なつかしいポン菓子の出来上がり。そして、熱い豚汁で身も心も温まりました。

ステキな手作り品やご自宅の不用品(新品に限る)をお持ち下さい。会場でオークションを行い、代金はそっくりお持ち帰りいただけます。ビンゴゲームには賞品が出ますよ。

自然体験には、寄せ植え用の植木鉢、軍手、スコップなどを各自ご用意下さい。梅林に自生する野草などの寄せ植えを作りましょう。それから、梅の木に生えている苔取りにもご協力下さい。結構楽しいですから・・・。

梅まつり会場で17年度の入会手続きを行います。年会費は千円です。

問い合わせは「梅の会」事務局・深山

電話0595(66)0678



NPO秋生会ニュース(No. 10)

立杭焼き窯元見学会

NPO秋生会では、下記要領で第2回窯元見学会を計画しました。皆様方の参加をお待ちします。

期日 3月27日(日)

費用 6000円

集合 午前9時30分 近鉄上本町出発

募集 20名

見学 市野陶山・陶の里・丹波古陶館・篠山城歴史資料館等を予定

申込 住所・氏名・電話番号・参加人数を明記しハガキにて下記住所に送付して下さい。

電話の場合090-8129-2750

詳細 参加受付後に連絡します。

締切 3月13日(日)

連絡 三重県伊賀市長田字南西浦 3574-3

伝統工芸体験センターIN IGA 秋生

NPOバリアフリースタジオ「同夢」

「同夢」@ユニバーサルデザイン専門の市民活動団体です・<http://www.doumu.net>

知ろう!学ぼう!深めよう!ユニバーサルデザイン

いがユニバーサルデザイン研究会



・・・第2回講座を開催します・・・

日時:3月19日(土) 13:30～16:00

場所:いがまち保健福祉センター 愛の里 研修室

講座:「浜松市におけるユニバーサルデザイン

～思いやりの心が結ぶやさしいまちの実現を目指して～」

講師:浜松市企画部企画課 ユニバーサルデザイン室

室長 高橋 輝久 氏

費用:無料 申し込み:不要

問い合わせ:(23)9513 孫(そん)まで

同夢は

「ひとり一人が個人として尊重され、多様な価値観を認め合うことができ、誰もが安心して安全に暮らすことのできるユニバーサルデザインのまちづくり」をめざして活動しています。

・・・ご相談ください・・・

バリアフリー住宅改修/点検

毎週<日曜日>

3月6日・13日・20日・27日

13:30から15:30

場所:名張市パークシティ オークワ

2階「暮らしの情報センター」同夢

えこころいすとマガジン いがび〜と版

「芸術交流活性グループえこころ倶楽部」05-3号

【えこころカード = 作家による交流のポストカード】



「お友達の印に」とか「お礼に」とかでポストカードをよくいただきます。また自身も、「記念に」とか言ってポストカードをよく渡します。結構そういうやりとりって楽しいですね。

感謝のやりとりがカードで自然と出来ているわけ、一時期ブームになった地域通貨の一工夫(インターネットの活用・作家の紹介・作品の購入特典)を加えて「えこころカード」を作っています。

作家・作者たちのプロフィールがカードになって、仲間の間を循環していく = 作品に注目してもらう機会の創出 = 作品の購入の

機会につなげることが出来る(かも)。

普通の絵はがきとして使ってもらってもOK。お友達に気軽にプレゼントしても楽しいです。お部屋に飾るのもステキかもしれませんね。更にその作家さんにアクセスして仲良くなれるかも。

画像の作品は、最近送られてきた亀山の作家さんの作品です。この画像も「えこころカード」となり、仲間たちの間を配布されます。(寄付金と交換に50枚作成し、配布いたします。)

【問合わせ & 情報提供 = FAXかMAILにて】

FAX: 0595-52-3845 MAIL: webmaster@g-ring.com

*必ず文章でお願いいたします。電話でのアクセスはご遠慮いただいています。

HPからも投稿が出来ます。是非アクセスを! <http://www.g-ring.com/index2.html>

毎月第3日曜日は
音家ライブ!!
PM4:00スタート!!

次回3月20日の
LINE UPは...

ライブエフェクト!!
DIES6x4
Street Life
and more

出演バンド
募集中

卒業おめでとう
祝卒業LIVE
3月28日
開催予定 at Old Red Mill

音楽好きな仲間が集まれ!
上野産業会館2F
青少年の居場所
音家 OTOYA

新年度メンバー募集中!
バンド練習したい方、ライブ出演したい方
年齢問わずお気軽にお問い合わせ下さい。

ライブキャンプ実行委員会
★お問い合わせ 090-5866-0738

骨髄バンクの登録を呼びかけるボランティアグループ

勇気の会伊賀支部

2005年5月28日(土)「全国骨髄バンクボランティアの集いIN伊賀」に向けて演劇「華」の練習をしています。まだまだ出演者が不足していますので「やってみたい。」という方は、是非参加して下さい。現在、第一月曜日19:30~上野ふれあいプラザ3階視聴覚室にて練習していますので、お気軽にお越し下さい。

【問い合わせ】
電話0595(23)7175
山本まで

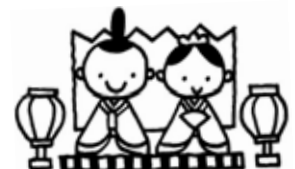


特定非営利活動法人うへの託児所ドリーム

家庭的な雰囲気のと児所で、24時間保育しています。子育ての大切な時期をゆったりとした環境の中で楽しく子育てしてみませんか?

子育て相談や園庭開放もしています。親子でも、お友達と一緒にでも、お気軽にお出かけ下さい。保育料や保育内容についてもお気軽にご相談下さい。

【参加申込・問い合わせ】
うへの託児所ドリーム
伊賀市緑ヶ丘西町2399-1
電話0595(26)3327



室地聡の「一刀両断世相“斬り”」(其の壱)

旧青山町は種生の“博要小学校”は昔懐かしい木造校舎。残念ながら廃校になってしまったが、そのことは別の機会にのべるとして“博要”という校名の由来がすごい。前漢時代の史家、司馬遷(BC145～BC86頃)の「史記」、その中の「博而寡要」から取ったものとのこと。「博而寡要」(はくにすくなくしよう)とは、“知識が博(ひろ)いだけで、肝心の物事の本質が殆ど分かっていない”という意味だが、教育の真の目的は「博而寡要」=「博要」(博識でありながら、同時にさまざまな現象の底に潜んでいる本質を見抜く洞察力を備えた人材の育成)でなければならないという優れた識見に基づいてつけられたもので、実に敬服に値する校名ではある。

前置きが長くなったが、問題の本質を見極めるといことは極めて重要なことで、それ抜きの“努力”は、ムダどころかマイナスにさえなりかねない。努力至上主義が罷り通っている社会では、とかく努力型人間が必要以上に評価される傾向があるが、ピントのずれた努力は、時間や労力、お金...の浪費でしかなく、個人レベルでならともかく、官公庁などでこんなことが横行すれば、その国・その社会は疲弊してしまうこと請け合いである。膨大な資料を集め、それをコピーし、学識経験者とやらのご意見を承り、会議という名の小田原評定を重ね、報告書にまとめ上げ...これ全部お金がかかるんです(お役人が会議に出席するのはむろん給料の内。)

中央官庁、その出先機関、各地の自治体などで盛んに横行している“不適切な予算の執行”という名の犯罪(カラ出張、カラ残業、天下り先確保の為のムダな施設づくり)が言語道断なのは言うまでもないが、これらに関わっている人間は、多少なりとも罪の意識や後ろめたさは感じているはず。ところがピントはずれの努力をせせと積み重ねている連中は、ものすごい無駄遣いをやって、国家・地方財政に穴を開けているのに、罪の意識など丸でなく、それどころか胸を張っているのだから、始末に悪い。

改革!改革!と一つ覚えよろしく唱えているお方、こちらの方もお忘れなく、と言いたいところだがスタンドプレイに憂き身を糞(やつ)していらっしゃるあの人じゃ、こんな地味なことなど眼中にないか。・・・残念!

鬼瓦編集長の市民活動時事批評



昨年未制定された、伊賀市自治基本条例は、伊賀市における最高規範であり、伊賀市の憲法として、伊賀市におけるすべての事業の基本となるそうです。日本においては、平成12年に北海道二セコ町が「まちづくり基本条例」を制定したのが第一号で、伊賀市の自治基本条例が全国で21番目となります。しかし、条例の中身としては、これまでの条例の中で最も先進的な内容であると高く評価されています。この条例、よく読むと、行政と市民の役割と義務が明確に記載されていて、行政は積極的に情報公開をし、市民投票を含め、計画策定や条例制定過程において市民参加を原則とすることを明記しています。一方市民は行政情報を知る権利や、計画策定や条例制定に参加する権利を有しています。これは逆説的に解釈すると、行政は市民抜きで重要施策を決定してしまったり条例違反になり、市民は行政がパブリックコメントや、公募委員を募集している時に意思表示をしないと、決まったあとで文句を言っても参加しなかったから自業自得だと言われても仕方が無いということになるのです。この条例、市民が積極的にまちづくりに参加する場合には、それを支援してくれる条例になり、参加しない場合には、行政決定を擁護する条例になります。要はこの条例を生かすも殺すも市民次第というわけです。

発行 〒518-0869 伊賀市上野中町2976番地1 上野ふれあいプラザ3階 伊賀び～と編集委員会
電話: 0595(21)5866 FAX: 0595(26)0002
E-mail ue-vac@hanzou.or.jp ホームページ <http://www.hiraki.gr.jp/hanzou/beat/>

窓口 = プラットホーム

名張市社会福祉協議会	〒518-0718 名張市丸之内79 名張市総合福祉センターふれあい 電話: 0595(63)1111 FAX: 0595(64)3349 E-mail: n.furevc@nava21.ne.jp
伊賀市社会福祉協議会	〒518-0869 伊賀市上野中町2976-1 上野ふれあいプラザ3階
上野支所	電話: 0595(21)5866 FAX: 0595(26)0002 E-mail: ue-vac@hanzou.or.jp
伊賀支所	〒519-1413 伊賀市愛田513 いがまち保健福祉センター「愛の里」 電話: 0595(45)1012 FAX: 0595(45)1050 E-mail: iga-vac@hanzou.or.jp
島ヶ原支所	〒519-1711 伊賀市島ヶ原4743 島ヶ原老人福祉センター「清流」 電話: 0595(59)3132 FAX: 0595(59)3145 E-mail: shima-vac@hanzou.or.jp
阿山支所	〒518-1313 伊賀市馬場1128-1 阿山保健福祉センター 電話: 0595(43)1854 FAX: 0595(43)1577 E-mail: aya-vac@hanzou.or.jp
大山田支所	〒518-1422 伊賀市平田656-1 大山田福祉センター 電話: 0595(47)0780 FAX: 0595(46)1165 E-mail: oo-vac@hanzou.or.jp
青山支所	〒518-0226 伊賀市阿保1988-1 青山福祉センター 電話: 0595(52)2999 FAX: 0595(52)3555 E-mail: ao-vac@hanzou.or.jp
W.T.Aまちづくりセンター	〒518-0866 伊賀市上野小玉町3045-1 いっぷく陣 電話: 0595(24)7612 FAX: 0595(22)0072 E-mail: nagi-47.4.3@ezweb.ne.jp
暮らしの情報センター	〒518-0441 名張市夏見字下川原251-1 パークシティなばり2階「C.O.T café」 電話: 0595(61)2355 FAX: 0595(61)2355 E-mail: cot@e-tuji.com